

各 位

公益財団法人 SBI 子ども希望財団  
理事長 田淵 義久

## SBI子ども希望財団 2019年度 英会話教育支援プログラムのご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、SBIグループの社会貢献活動として設立された当財団は、児童虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子ども達の福祉の向上を目的に、様々な事業活動を行っております。児童養護施設等に対する助成活動、施設職員向けの研修の実施や社会的啓発活動の推進に加え、児童養護施設児童に対する自立支援事業も行っております。

当財団では、2014年度より SBI 英会話教育支援プログラムのご提供を開始し、多くの施設からお申込みをいただき、現在もたくさんの児童の皆さんが英会話学習に取り組んでいます。本プログラムを受講した児童が、英検に合格した！とか、英語の成績が上がった！などのご報告も多くいただくようになり、中には、外国語学部に進学した、とか英語の専門学校を出てホテルに就職した、といった嬉しい報告もありました。ぜひ、2019年度も本プログラムのご活用を推進していただきたく、お願い申し上げます。

今回ご案内する『2019年度 英会話教育支援プログラム』の概要は下記の通りです。

### 《2019年度 英会話教育支援プログラムの概要》

1. 英会話カルタ(1～5巻及び音声 CD)のご提供
2. 公文式「英語学習」の会費(授業料・E-Pencil 代)を支援
3. 英会話教材「スピードラーニング・ジュニア」6か月分をご提供
4. 「SBIイングリッシュキャンプ」へご招待

●『**なぜ英語？国語や算数のほうが大事ではないか**』と仰る方もいらっしゃいます。しかしながら、文部科学省は「グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要である」とし、小学校から外国語の授業を導入するなど、英語教育改革を推進しています。このような流れの中、国語や算数と同じように、**英語の重要性がますます高まっているのが現状**なのです。英語に少しでも触れた経験があれば、学校での英語の授業に抵抗感がなくなるなど、プラスの効果が期待できます。本プログラムを受講し、**英語の成績が上がったことが功を奏し、他の教科の学習にも意欲が出てきた子**もいました。勉強嫌いのお子さんでも、**英会話学習には積極的**だったりすることも少なくありません。私どもは、多くのお子さんに英会話学習に取り組む機会を作りたいと考えております。

●『**日々の生活で精いっぱい。英会話なんてやってる余裕がない**』という方もいらっしゃいます。様々な事情を抱えた子ども達の対応で多忙を極める職員さんも多いと思いますが、

“忙しい”中でも取り組める「英会話カルタ」をぜひお勧めいたします。本プログラムでご提供している英会話カルタは、日常的な英単語や英熟語をカルタにしてあり、施設内で職員の皆さんと子どもたちが一緒に遊びながら、英語を身近に感じてもらえるものであり、小学生低学年から中高生はもちろん、大人まで楽しく使えるカルタです。週末や天候の悪い日の余暇時間に、子ども達を数人集めてカルタをやってみるのもいいと思います。カルタを使って子ども達と関わる時間を持ち、日常生活の一部にさせていただけたらと考えております。

まずはこの簡単な「マリさんの英会話カルタ」から始めていただくことを推奨します。

●『うちには英会話学習ができそうな子がいない』という方もいらっしゃると思います。しかし、ある施設では、無理だろうと思いつつ、とりあえずやらせてみたら、周りが驚くほど集中して取り組み、継続しないだろうと思っていたのに誰よりも頑張つて学習した子がいたのだそうです。その施設の方は、「大人の勝手な考えで『どうせ…』と判断し、周りの大人がその子の成長を止めていたのだ」と反省の弁を述べていらっしゃいました。

子ども達の可能性を信じ、英会話学習の機会を作ってあげること、それができるのは貴施設の役職員の皆様方です。

## ●～英会話学習を通じて～

我々が推奨する英会話カルタは、簡単なフレーズをテンポよく覚えることができるので、子どもが覚えたらその都度褒める、その繰り返しで子どもの自尊心を向上させることにもつながります。

公文教室に通う子は、学校の友達と同じように“塾”に通っているということが嬉しい子もいて、外とのつながりができることもまた良い経験になるようですし、教室の先生から丁寧に教えてもらい、公文のプリントで毎回〇をもらえるのは何よりの経験になります。

スピードラーニング Jr.は、自分宛にCDが届くのが楽しみだったり、無料電話レッスンで外国人スタッフと話をすることができたり、普段できない経験ができることもメリットの一つです。

ぜひ英会話学習を通じて、子ども達自身が「大切にされている」「自信を持っていいんだ」と感じてもらうための手段としてご利用いただき、日々の生活の中で英会話学習を取り入れていただければ幸いです。

我々が目指している本プログラムの目的は、「英会話学習を通じて、コミュニケーション能力の向上と自信と自己探求意欲を持つことに繋げて、最終的に英語スキルを通じて自立(労働)の支援となり、より良い生活を夢見る勇気を与える機会の創出の一助になることを期待するもの」です。

この目的を実現する子ども達がますます増えるように、当財団も一緒になって努力させていただきます。ぜひ貴施設の児童の方々の本プログラム参加、英会話カルタのご活用を積極的にご推進いただきたく、お願い申し上げます。

今後とも当財団の事業活動につきまして倍旧のご厚情を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

敬具

本件についての問い合わせ先 (受付時間：平日 AM10:00～PM5:00)  
〒106-6019 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー19F  
公益財団法人 S B I 子ども希望財団  
TEL：03-6229-1003 FAX：03-3582-0686  
E-mail：sbichildren@sbigroup.co.jp

# 【2019年度 英会話教育支援プログラム 募集要項】

## 1. 目的及びプログラム提供要旨

近年、施設長、職員の方々の日頃のご尽力から専門養育機関であるとの意識の高い施設ではケアワークの質も向上し、安定感も増し、新しい取組みを実施しつつ子どもたちの自立に効果をあげられる施設が登場し始めております。

一方、近年の大阪市の調査では市内の児童養護施設を退所した人を対象にしたアンケートの結果、毎月の収入が 15万円以下の人が43%にのぼり、生活保護などの公的扶助で暮らしている若者も、全体の4分の1近い23.5%にのぼっていました。

また、九社連児童養護施設協議会での自立支援の実態調査報告書では、中卒後就職した子どもが最初の半年で約40%が離職し、高卒後就職した子どもは半年で約20%、1年以上で約40%以上の子どもが離職していることが明らかになりました。児童養護施設を退所した後に、おいて自立という点で厳しい生活状況におかれた若者が多いことがわかります。そして離職に及ぶ原因の80%以上が何らかの対人不調、つまりコミュニケーション能力の不足によるものと推測されます。

文部科学省が公示した次期学習指導要領によると、英語の科目については、小学校5年生と6年生で教科として扱われることや、現行の「外国語活動」が小学校3年生と4年生で導入されることとなりました。自治体によっては2020年度を待たずに新学習指導要領を先行実施しているところも多く、学校における英語教育改革は着実に進んでいるのです。

国際化が加速する中で、英語スキルを持った若者の雇用を切望する企業は益々増加し、2020年には東京での国際オリンピック開催も決定しており、世界共通語である英語の必要性は益々高まることが予想されます。

今回のSBI子ども希望財団英会話教育支援プログラムは児童養護施設の子どもたちに英会話学習を通じて、コミュニケーション能力の向上と自信と自己探求意欲を持つことに繋げて、最終的に英語スキルを通じて自立（労働）の支援となり、より良い生活を夢見る勇気を与える機会の創出の一助になることを期待するものです。

2. 支援内容について 希望する児童養護施設に対して、下記をご提供させていただきます。

- ①英会話カルタ（1施設につき1セット） 50施設
- ②公文式の「英語学習」の会費（授業料・E-Pencil代）（小・中学生対象） 50名
- ③英会話教材「スピードラーニング・ジュニア」前半6巻（中・高校生対象） 200名

※対象学年等詳細は別添「2019年度 英会話教育支援プログラム概要資料」をご参照下さい。

※既にカルタをお申込みいただいた施設で、追加でご希望の場合は、申込フォームの備考欄に理由をご記入の上お申し込み下さい。

※英会話カルタとスピードラーニング・ジュニアについて、SBI子ども希望財団ホームページにて紹介動画を公開しています。

※既に2019年度までに「スピードラーニング・ジュニア前半6巻」を受講し、今回、後半6巻をご希望される方は申込WEBフォームにて希望セット「後半」を選択して下さい。

※中学生は公文式の英語かスピードラーニング・ジュニアの何れかを選択出来ますが、公文式の英語とスピードラーニング・ジュニアの併用は出来ません。

上記①～③のいずれかを履修した児童を対象に、リンク・インタラックグループと共催で実施する「SBIイングリッシュキャンプ」へご招待いたします。（参加費、交通費はSBI子ども希望財団が負担します。）

～ご参考～ **2019年度「SBI イングリッシュキャンプ」**

【開催日程】 2019年8月5日(月)～8月7日(水) 2泊3日

【開催場所】 東京都新宿区 飯田橋レインボービル及び東京セントラルユースホテル

【募集人数】 60名 (同行施設職員を除いた人数)

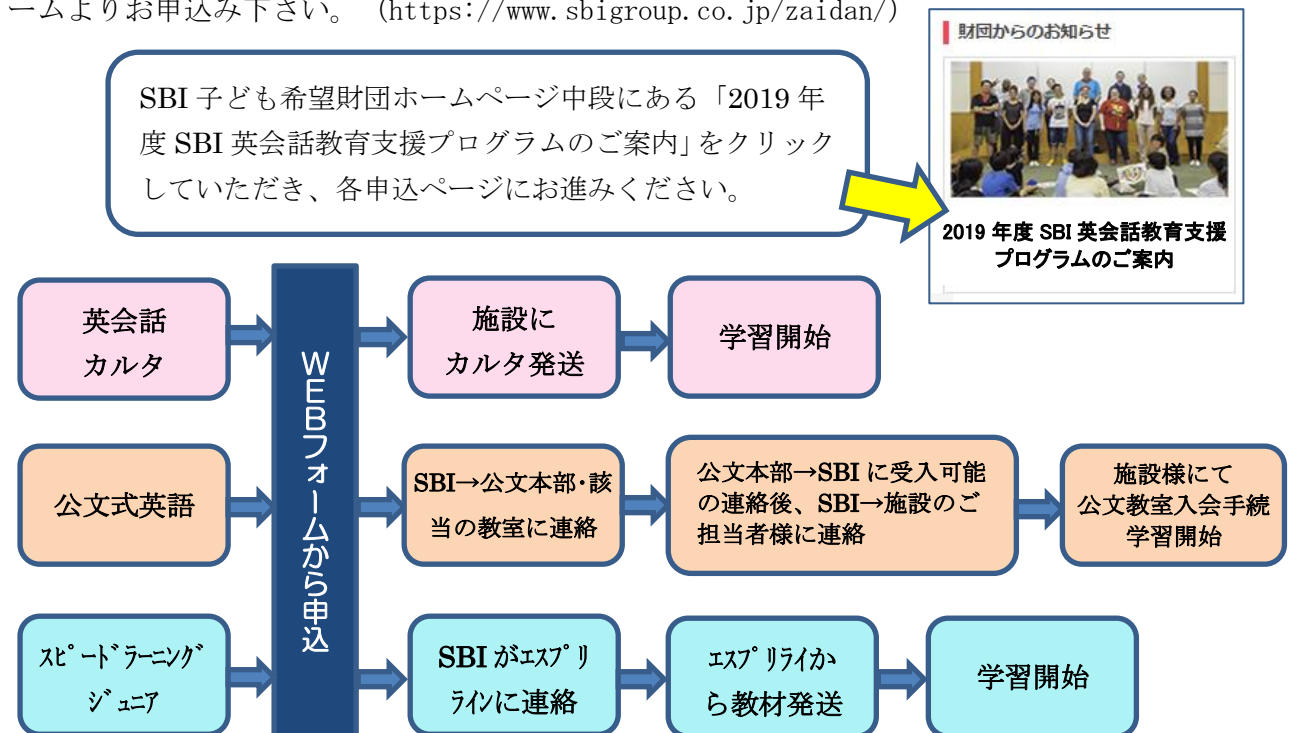
※キャンプ詳細・参加募集につきましては、4月以降に別途ご案内致します。

※英会話学習に積極的に取り組んでいる児童、または英会話を身に付けたいと意欲のある児童に参加いただきたいと考えています。

※原則として、1施設1名の職員の方にご同行いただきます。

※参加希望者多数の場合は施設毎の抽選により参加者を決定いたします。

**3. 申込方法とその後の流れ** SBI 子ども希望財団ホームページに掲載中のWEBフォームよりお申込み下さい。(https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/)



※上記いずれも予定数を超えた時点で締切とさせていただきます。(先着順)

※申込みの際は、WEBフォームにて施設名や住所、担当者名など必要事項をご入力いただき、送信ボタンを押して下さい。なお、公文式英語とスピードラーニング・ジュニアのお申込みには、受講希望児童の氏名・性別・学年のご入力が必要です。個人情報の取り扱いについてはWEBフォームご入力時にご確認をお願いいたします。

※公文式英語を申込みされる場合、ご希望の公文教室を決めてからお申込み下さい。申込み前に見学や体験学習をされても構いませんが、正式な入会手続きは、上記申込み後をお願いいたします。また、公文会費は施設様にてお立替をお願いいたします。後日、お立替いただいた会費をまとめて施設様にお振込いたします。

※カルタとスピードラーニング・ジュニアは2019年4月以降に発送させていただく予定です。

**4. その他** 予定数を超えた場合にはお断りさせていただく場合があります。また、当財団の都合、天災地変等により、当プログラムの実施が困難な場合は、実施可否を再考させていただく場合があります。教材の施設外への流用、悪用及び当プログラムの円滑な実施を妨げる恐れがあると当財団が判断する場合、教材の提供、キャンプへの参加をお断りする場合があります。また、本プログラムお申込みの施設様には、アンケートのご記入をお願いすることがございますので、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

# 公益財団法人SBI子ども希望財団

## 2019年度 英会話教育支援プログラム概要

### 英会話カルタ

募集：50施設  
推奨対象：幼児・小学校低学年～  
簡単な英単語・熟語をカルタにしたもの  
1施設につき1セット（1巻～5巻）提供

わかりやすい紹介動画公開中！  
（SBI子ども希望財団HPにて）

遊びながら楽しく英語に触れられる！

耳に残るリズムで、  
すぐに覚えてしまう♪

これまでに215施設にご提供

### 公文式英語

募集：50名  
対象：小学生・中学生  
公文の英語の会費を最長3年間支援  
負担の少ない施設外部での学習

進級式だから  
続けられる！

学校や施設と異なる  
新鮮な環境

E-Pencilで発音も  
バッチリ！

これまでに68施設  
343名が受講

最寄りの公文教室での英語指導を受けることができます。

### スピードラニング・ジュニア

募集：200名  
対象：中学生・高校生  
スピードラニング・ジュニアコース全12巻のうち前半6巻の提供  
電話で英会話レッスンができるフレンドシップトーク（全3回、予約制）

直接外国人と電話で話せる！

聴いているだけで  
リスニング力UP！

これまでに160施設  
720名が受講

中学生は公文式の英語かスピードラニング・ジュニアの何れかを選択出来ますが、  
公文式の英語とスピードラニング・ジュニアの併用は出来ません。

数字は2019年2月時点



### SBIイングリッシュキャンプ

募集：60名  
対象：上記いずれかを履修した小学生・中学生・高校生  
リンク・インタラックグループと共催するキャンププログラムへ  
ご招待（参加者の交通費・宿泊費はSBI子ども希望財団負担）

直接外国人スタッフとコミュニケーションを楽しめる！

実際に英語を使うことのできる  
絶好の機会です！

昨年は26施設73  
名の児童が参加

【開催日程】2019年8月5日（月）～8月7日（水）2泊3日

【開催場所】東京都新宿区/飯田橋レインボービル及び東京セントラルユースホテル

【募集人数】60名

# 英会話カルタについて

SBI 子ども希望財団ホームページにて、マリさんの英会話カルタのご紹介映像を掲載しています。ぜひご覧ください！

公益財団法人 SBI 子ども希望財団  
<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan>

SBI 子ども

検索

「SBI 子ども」で検索  
してみてください！



英会話教育支援プログラム  
「マリさんの英会話カルタ」  
紹介映像はこちら

京都府舞鶴市の鷺田マリさん考案の  
英会話カルタです。

日常的な英単語や英熟語をカルタにしてあり、  
遊びながら英語に触れることができます。

「あ」～「わ」の絵札と字札がそれぞれ  
4 4 枚ずつ、1 巻から 5 巻まであります。

これだけで 220 個もの英単語・熟語を覚える  
ことができます。

付属の CD には、字札（日本語）→絵札（英語）  
の順番で音声収録されており、子どもたちにと  
っても覚えやすい内容となっています。

また、音声は特徴的なリズムで収録されており、  
耳に残るような工夫がされています。



ユ  
ア  
タ  
ー  
ン

あ  
な  
た  
の  
ば  
ん  
よ

あ

ス  
ィ  
ー  
ユ  
ア  
ゲ  
ン

い  
つ  
か  
ま  
た  
ね

い

デ  
ィ  
ス  
ガ  
ス  
テ  
ッ  
ド

う  
ん  
ざ  
り  
で  
す  
よ

う

この英会話カルタは、施設内で職員の皆さんと子どもたちが一緒に遊びながら、  
英語を身近に感じてもらえるものとなっています。



イングリッシュ  
キャンプでも  
実施予定！

舞鶴市の幼稚園では、このカルタを使った英語学習の取り組みをされている  
ところもあり、子どもたちもとても楽しそうに取り組んでいました。  
覚えやすい内容とリズムで、子どもたちは丸暗記して英単語・熟語を口にしていました。

この英会話カルタは、カルタ遊びはもちろん、CDを聞いて覚えた単語・熟語をクイズ形式で出  
してみる等、いろいろな使い方があります。  
まずは英語に触れてみるところから始めたい、という時にぜひ活用していただければと思います。

# 公文式英語について

公文の英語についての詳細は [KUMONホームページ](#) をご覧ください

公文式の英語学習 | 公文教育研究会

<https://www.kumon.ne.jp/eigo/index.html?lid=4>

※お近くの公文教室をお探しの場合は、  
公文のホームページから検索できます。



## ～公文教室に通った児童について、施設の職員様からいただいたご感想をご紹介します～

- ・継続して公文に通った児童は、今春高校進学することができた。
- ・英検5級合格や英語以外にも意欲的に学習したり、何事にも自信を持って生活する姿が見られた。
- ・公文式で出会った友人と仲良くなったり、友達が増えた。
- ・学校での英語の学習にスムーズに入ることができ、現在の学習にも役に立っていると本人が話していた。
- ・公文の教室でも分かりやすく優しく教えて頂け楽しかったと話している。
- ・職員から声かけをしなくても「今日、公文だよね！」と自分から言っている。行きたくない等は言ったことがなく毎回楽しみなようだ。声かけをしなくても毎回自分で宿題をしている。
- ・公文に通っている子は前向きになり、外出の機会も増えた。
- ・小学生から始めた児童については、中学校へ進学してからの英語学習がスムーズに行えた。
- ・施設にこもりがちであった児童が、目的をもってひとりで通えたり、締め切りまでに宿題をやらなくちゃという意識をもてたり、と社会経験が増えたことがよかった。
- ・自分の居場所の一つとして教室を認識している。
- ・周りの子どもも「私も英語習いたい！」と言って広まっている。
- ・公文は一人だけ通わせてもらっているという特別感もあるからでしょうか、とても自信に繋がったと感じています。
- ・公文式のテストを通じて、自信につながっている。
- ・学習への意欲が向上した。より計画的に学習に取り組めるようになった。英語以外の成績も向上した。1人でも学習に取り組めるようになった。
- ・習い事という経験をすることによって、施設・学校以外の社会とのかかわりが出来たり、特別感を持っている。
- ・英検3級に合格するために頑張っている。3年間継続すると決めており、継続力がついてきている。
- ・通っているときはとても成績が伸びました。英語が分かるようになり、自信につながっていました。
- ・英語やアルファベット、ローマ字に興味を持つ様になった。元々積極的な子だったが更に英語の発音を大人の前でしてみたりと積極的になった。
- ・小学5年生から始めることで中学に入学後、英語に対する苦手意識を持つ事なくスタートできた。
- ・英語への興味、関心が高まり英語の書かれている服や物等が目につくと読んだり意味を調べたりするようになった。e-pencilの活用により、発音が正しくなった。海外へ行きたい等の目標が出来、前向きに自分の将来を考えるようになった。
- ・英検5級に合格した子どもは、次は4級合格を目指している。中1の子どもは英語が本格的にスタートする時期で得意科目となっている。

# (株)エスプリライン 『スピードラーニング・ジュニア』について

「聞き流すだけ」の英会話教材  
スピードラーニング  
ジュニア

SBI子ども希望財団ホームページにて、「スピードラーニング・ジュニア」の紹介映像を掲載しています。ぜひご覧ください!

公益財団法人SBI子ども希望財団  
<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

「SBI 子ども」で検索してね!

SBI 子ども 検索



**外国人とコミュニケーションが出来るだけで世界が広がる!!**  
**これからの国際社会を目指し、聞いて、話して未来へ Go!!!!**

**音楽を聞く様に聞き流すだけ、聞いて話せる使える英語を身に付けよう!**

【前半：1～6巻】初めての方はこちら

- ※1巻 初めてのアメリカの小学校  
みにくいアヒルの子
- ※2巻 初めてのアメリカの中学校  
体の中への探検旅行
- ※3巻 感謝祭  
ある船乗りの生涯
- ※4巻 ベッグラリーって何?  
ドリームガール、夢見る少女
- ※5巻 クリスマスシーズン  
ガーナからの手紙
- ※6巻 スクールダンス  
裸の王様

## CDタイトル一覧

### 【教材の特長】

- ① 1回5分から聞き流すだけでOK
- ② 英語のあとに日本語を収録。  
だから辞書・テキスト不要
- ③ 英語を英語で理解する  
回路ができる
- ④ 楽しいBGM音楽で、  
リラックスして聞き流せる
- ⑤ 英語のみを収録したCD付き
- ⑥ きれいな英語で話せるようになる
- ⑦ 英語を先にキャッチするための  
「ボン→英語→日本語」
- ⑧ アメリカの子どもたちの  
学校生活を疑似体験できる

【後半：7～12巻】1～6巻を持っている方はこちら  
※ポータブルCDプレーヤーはつきません

- ※7巻 スポーツと学校  
世界一周の旅
- ※8巻 サマーキャンプ  
江戸から東京へ
- ※9巻 パースデーパーティー  
ドリームボーイ、夢見る少年
- ※10巻 チキンスープは最高の薬  
アメリカからの手紙
- ※11巻 ハロウィーン  
宇宙旅行
- ※12巻 日本について教えて  
ある教育者の夢

※【前半：1～6巻】をお申し込みの方にはもちろんポータブルCDプレーヤーをプレゼント!

**聞く!! 話す!! 2大サービス付き**



★ New!! ★ 新登場!

### リスニングテスト (1巻～6巻)

- ゲーム感覚で、スマートフォンやパソコンからトライ!!
- 自分がどれくらい聞きとれているかリスニング力を確認できるよ。
- 自分で設定した目標をクリアするまで、何度でも繰り返し挑戦できます。



### フレンドシップトーク(全3回、予約制)

- 外国人・バイリンガルスタッフがあなたに電話をかけてくれ、楽しく会話できるよ。
- 活きた英語が身に付きます。

※サービス・内容は予告なく変更する場合がございます





# SBI イングリッシュキャンプについて

イングリッシュキャンププログラム例（2018年度の場合）

1 日目	開会式
	キャンプのグループの旗&自己紹介ソング作り
	キャンプのグループをみんなに紹介しよう！
2 日目	東京散策 or 英語ゲーム
	ワールドツアーをしよう！
	マリさんの英会話カルタ大会
3 日目	キャンプのTシャツをつくろう！
	キャンプの表彰と閉会式

参加者（引率職員含む）の交通費・宿泊費は  
SBI 子ども希望財団が全額負担します!!



いろいろな国の外国人講師  
が多数参加しました



みんなで工作やゲームを楽しみました



外国人講師がさまざま  
な国を紹介するツアー  
もありました



Tシャツにサインをもらいました

英会話カルタ大会も  
行いました



## ☆☆～ 引率職員様の感想を一部ご紹介します ～☆☆

- ★様々な施設の子ども達、またネイティブの先生達との関わりが、参加した児童の良い刺激となり、すごく良い思い出となりました。
- ★引っ込み思案な部分もある子ども達だったので、初日はとても心配しましたが、2日目には全く違う表情で取り組んでいる姿を見て、子供達の成長する力を感じました。
- ★キャンプの中で、小さな成功でも見付けてくださり、その事に喜んでいる様子が見られました。英語への興味をより一層高めていたので参加させて頂き、本当に勉強になりました。
- ★帰園後の英語への意欲の高まりが感じられ、また、行かなかった児童にも、英語頑張っってイングリッシュキャンプに行きたい、と言う声が聞けるようになりました。
- ★このイングリッシュキャンプは子ども達にとって本当に良い機会だと感じました。もっと多くの子に参加してもらい、英語の面白さ、外国人講師の方とコミュニケーションととる楽しさを知ってもらいたいと思いました。
- ★たくさんの海外出身の先生とかかわれたことで視野が広がり、将来の目標ができたという面でも、参加して良かったと感じています。
- ★さまざまな面から子ども達に働きかけられるこのキャンプは、非常に意義深い活動であると引率職員として参加してみても強く感じました。